

# 11月のねらい及び各クラスの活動内容

月のねらい		・いろいろな素材を使って表現する。(経験したことを絵や貼り絵などを表現する) ・ルールある遊びを友だちと一緒に楽しむ。(鬼ごっこ・サッカー・ドッチボールなど)					
クラス		年長児(さくら組) 活動	年中児(うめ組) 活動	年少児(たんぽぽ組) 活動	未満児(2歳児) 活動	未満児(1歳児) 活動	未満児(0歳児) 活動
1	木	プレゼント作り・遊戯	戸外遊び	戸外散歩	園庭遊び・散歩	戸外散歩	園庭遊び・散歩
2	金		↓	↓ 集団的な遊び	↓	↓	↓
3	土						
4	日						
5	月	戸外散歩・防火パレード	戸外散歩・防火パレード	戸外散歩・防火パレード	戸外散歩・防火パレード	戸外散歩	園庭遊び・散歩
6	火	お店屋さんごっこ係決め	製作(秋)	避難訓練	製作	製作(紐通し)	
7	水	八天の里訪問	散歩	食べ物製作	↓	↓	
8	木	避難訓練	↓ 避難訓練	おままごとごっこ遊び	↓ 避難訓練	↓ 避難訓練	↓ 避難訓練
9	金	お店屋さんの名前決め・看板作り	喫茶店名前決め	↓ 触れ合い遊び	↓	↓	↓
10	土	祖父母参観日	祖父母参観日	祖父母参観日	祖父母参観日	祖父母参観日	祖父母参観日
11	日						
12	月	ピアノカ・太鼓	飾り・おもちゃ作り	戸外散歩	園庭遊び・散歩	戸外散歩	園庭遊び・散歩
13	火	飾り作り	↓	消防署見学	↓ 製作	↓ 製作(紐通し)	
14	水	↓	↓	おもちゃ製作	↓	↓	
15	木	お誕生会	お誕生会	お誕生会・お買い物ごっこ	お誕生会	お誕生会	お誕生会
16	金	お弁当の日	お弁当の日	お弁当の日	お弁当の日	お弁当の日	お弁当の日
17	土	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育
18	日	太鼓出演					
19	月	お店屋さん準備	喫茶店準備	戸外散歩	園庭遊び・散歩	戸外散歩	園庭遊び・散歩
20	火	↓	↓	リズム遊び	↓ 集団遊び	↓	↓
21	水	ごっこ遊び	ごっこ遊び	ごっこ遊び	ごっこ遊び	ごっこ遊び	ごっこ遊び
22	木		散歩・戸外遊び	製作帳製作	製作帳(はさみ)	↓	↓
23	金	勤労感謝の日	勤労感謝の日	↓ 集団的な遊び	↓ 勤労感謝の日	↓ 勤労感謝の日	↓ 勤労感謝の日
24	土	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育
25	日						
26	月	ピアノカ	戸外遊び・散歩	戸外散歩	園庭遊び・散歩	戸外散歩	園庭遊び・散歩
27	火	製作	製作	焼き芋	↓ クリスマス製作	↓ クリスマス製作	↓ 製作
28	水	↓	↓	クリスマス飾り作り	↓	↓	↓
29	木	↓ 太鼓	↓ 太鼓	クリスマス飾り作り			
30	金	↓	↓	触れ合い遊び	↓	↓	↓
31	土	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育	異年齢保育
前月の各クラスの自己評価	行事への見通しがつき、楽しみながら参加できる。行事へ向けての参加の準備をする中、我慢したり、話を聞く場面など、我慢しなければならぬことに我慢せず、遊びを通そうとしたり、いけないことで目をこらさずする姿も見られた。	・季節ならではの行事を子供たちと楽しみながら行っていたと感じる。子ども達自信が飾りをつけられるように必要なものは何かを考えながら準備をした。手の動作や、道具の使い方などを見ることで、個々の発達段階を再確認することが出来た。	・秋の季節を感じながらの行事を、期待をもって取り組めるように準備も自分たちでしていくような活動を計画したことで、一つ一つじっくり楽しめたと感じる。戸外散歩を継続して活動に入れることで、季節の移り変わりも気づくことができていた。	3歳以上児との散歩の機会を作ることで行く場所や距離を伸ばしながら少しずつ体力をつけることができたように感じ、秋の自然にも沢山触れる、楽しむことができたと思う。落ち着かずバタバタしてしまい製作時間が取れなかったように感じる。	トイレットトレーニングを通してズボン・パンツの着脱、散歩準備を通して靴下・ジャンパー・帽子の着脱など自分の身の周りのことをやろうとしていた。やりたい気持ちに寄り添い丁寧に関わることが出来るように、今後もゆとりのある時間の構成を行ってきたい。	戸外遊びや散歩の機会を多く取り入れ、秋の自然に触れながら歩くことやはいはいでの移動運動を楽しむことができたと思う。自分で食べたい、ズボンを履きたい等自分でしようとする気持ちが強くなってきていたり、友だちと関わろうとする姿が多くなってきている。	
自己評価を踏まえての改善点	子どもたちの良さに注目しながら、自分たちで考え行動できる姿を引き出し、自信や達成感につなげていく。沢山行事も予定されていて、同時進行していくが、子どもたちと考えを出し合って進めていく。	・登園時の片付けがようやく定着しつつあるものの、数名は片づけなままに遊び始める子もいるので声をかけていく。友達に声を掛け合って集団で遊ぶことが多くなり、友達と関わる楽しさに気づき始めている姿が見られる。友達と関わりながら、相手の気持ちにも気づいてあげられるような関わりや言葉がけをしていく。	・時期も良く、戸外散歩は継続してさらに距離も伸ばして楽しんでいくことで、自然に親しみ体力をつけていきたい。また、ごっこ遊びもあるので、お友だちと関わりながら、遊びを作る、おもちゃを作り出す、ことの楽しさも感じていけるように活動計画を立ててみる。	進級に向けて、朝の身支度、当番などを少しずつ始めていきたいと思う。最初は一人ひとり丁寧に慣れながらやり方などを知っていきけるようにゆくり時間を取るように活動計画を立てていきたい。身の回りのことについてもやれる子が増えてきている反面、甘えたり、やってもらえると思っている子もいるので、見守りながら、自信に繋げられるようにしていきたい。	身の周りのことを自分でやろうとする良い面がある一方で、甘えたい気持ちから自由遊びの中で保育士との一対一の関わりを求めてようにゆくり時間を取るように活動計画を立てていきたい。保育士と手を繋いで歩きたいとぐずってしまう子がいる。遊びの中で沢山触れ合い、別の時に安心して物事に挑戦できるような保育を行ってきたい。	自分でしようとする姿を大切にしていきたいながらも、遊び食べになり口に入れず投げたりすることもするため、食べ方を一緒に食べながら伝えていく。友だちとの関わりが増えて、噛む叩く等のトラブルも見られる。痛いということと噛む叩くことはいけないことだと伝えていき、関わりの楽しさも伝えていきたい。	

